



本四高速の地域連携への取組

令和4年 1月 28日

本州四国連絡高速道路株式会社



Bridge : Communication&Technology

目次

1. インフラツアーの更なる推進
2. SA・PAを拠点とした地域連携
3. 島旅の活性化
4. サイクリングによる地域発信
5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展
6. 多様な主体との連携

1. インフラツアーの更なる推進

「瀬戸内企業」として、さらに「インフラ経営」の観点から、世界に誇る長大橋群を活用し、地域への集客を促進します。

(1) JB本四高速のインフラツアー

2021年度は新型コロナウイルス感染対策を徹底し、旅行会社主催ツアーを実施。



明石海峡大橋ブリッジワールド
2005年常設化
2019年度(R1年度)13,407名が
ツアーに参加



瀬戸大橋スカイツアー
2019年常設化



来島海峡大橋
国土交通省の施策「インフラ
ツーリズム魅力増進プロジェクト」インフラツアーを活用した地
域活性化を目的として、2021年
10・11月に民間事業者によるモ
デル事業を実施。

[開催状況等] (R3年4月～11月)

ツアー開催回数	60回
一橋別内訳	
明石海峡大橋	33回
瀬戸大橋	24回
大鳴門橋	3回



EV抗菌施工



ソーシャルディスタンス
の確保

(2) インフラツアーの新たな取組

今後、キラコンテンツである長大橋の塔頂体験等と瀬戸内地域に数多く点在するコンテンツを組み合わせた付加価値が高いツアーを実施し、地域の魅力を向上します。

[神戸淡路鳴門自動車道ルートの例]

①明石海峡大橋ナイトツアーの実施

- 神戸観光局、宿泊施設と連携したツアーの実施
- ブライダル業界との連携によるプロポーズプランの試行

②淡路島の観光コンテンツを組み合わせたツアーの実施

- 明石海峡大橋クルーズを組み合わせたツアーの実施
- 大鳴門橋ウォークで南淡路と鳴門地域を食でつなぐファミトリップの実施



明石海峡大橋ナイトツアー
淡路側主塔から見た夜景



明石海峡大橋クルーズ
威臨丸による潜橋体験



大鳴門橋ウォーク
南淡路、鳴門地域の食体験

2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

地域と連携し、瀬戸内の魅力を発見・発信し地域内外のつながりを創出する「架け橋事業」の拠点としてSA・PAを最大限活用します。

(1) 「せとうち魅力発見キャンペーン（仮称）」の展開

本四高速版ディスティネーション・キャンペーンとして、テナントや地域とともに、地域の食や特産品をテーマにしたキャンペーンをSA・PAで展開します。

せとうち魅力発見🍡キャンペーン	春	夏	秋	冬
SA・PA店舗テーマ別対決イベント(12店舗)	スイーツ	麺類	スイーツ	丼
地域の特産品の即売会等	焼き物(丹波焼、備前焼、砥部焼等)、繊維(児島ジーンズ、今治タオル等)※			

※期間内のうち土日祝などで数日間開催予定

SA・PA店舗テーマ別対決イベント

第一弾として、『瀬戸内をわたり、おいしいスイーツにめぐり合う』をテーマに、地元の食材や地域の特色を活かした自慢のスイーツによる「せとうち春のスイーツバトル」を開催します。
(期間:2022年3月26日～5月8日)

SA・PAへの地域店の出店

期間中に地域のスイーツ店に出店いただき、地域とともにスイーツをテーマに盛り上げます。



※写真はイメージです。

2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

SA・PAで地域の特産品の即売会等

焼き物(丹波焼、備前焼、砥部焼等)、繊維(児島ジーンズ、今治タオル等)など、地域の特産品をSA・PAで販売する恒例イベントとして定着を図り、継続的に地域の魅力を発信します。

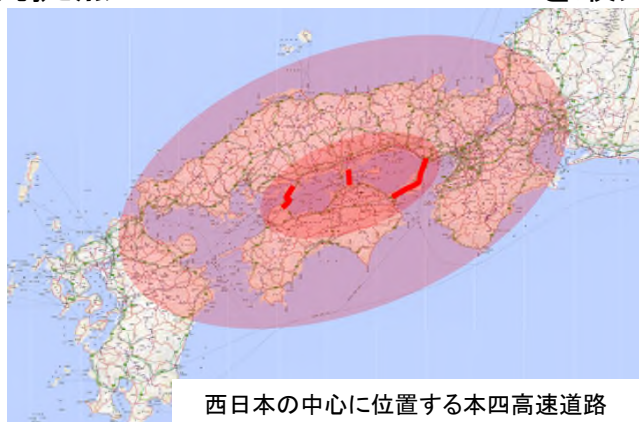
(2) 「地域マルシェ」等の開催

沿線地域の商工会議所や農協・漁協、観光協会や青年会議所等各種団体や企業等と連携し、SA・PAを地域の情報発信、特産品の販売拠点として活用します。

また、瀬戸内地域の観光・文化・産業の振興に取り組む国の機関(中国四国農政局等)ともSA・PAを拠点とした取組を進めます。

(3) 交流拠点としての活用

中四国地方を結び、近畿や九州も含めた、西日本の中心に位置する地域的特性を活かし、広域的な交流拠点として3ルート of SA・PAを最大限活用します。



西日本の中心に位置する本四高速道路

【これまでの取組事例】



砥部焼即売会
(来島海峡SA・愛媛県)



宇和島の真珠販売
(来島海峡SA・愛媛県)



西条市と連携した特産品販売
(来島海峡SA・愛媛県)



ビジネスマッチング
「四国ツーリズム創造機構商談会」(大阪)



「バイクフェスタ」(与島PA・香川県)

3. 島旅の活性化

瀬戸内地域の優れた景観や島々の歴史・文化に根ざす地域資源を活かした島旅の活性化に取り組めます。

(1) 塩飽諸島における島旅の実施

塩飽諸島の自然環境、歴史・文化等の地域資源を活かした島々の周遊ツアーを実施します。



大楠（志々島）



海ごみ調査の座学



海ごみ調査



海洋環境問題・SDGs等をテーマにした環境教育ツアー（小中学生親子）

(2) 「瀬戸内島旅活性化研究会」の開催

香川大学とともに、行政、観光関係者、島民等が参加した研究会で、島旅コンテンツの充実を検討します。



瀬戸内島旅活性化研究会

瀬戸内島旅活性化研究会について

「瀬戸内島旅活性化研究会」の設置趣旨について

○現在、全国的に多くの離島が、人口減少、高齢化等の課題を抱えている。その一方で、瀬戸内地域は、島・海の織りなす優れた景観に恵まれ、古くから海上交易の拠点として栄えてきた歴史があり、また、独自の文化など高いポテンシャルを有している。

○そうした中、今後の瀬戸内地域の活性化を図る上で、これらのポテンシャルを活かした島旅の活性化は重要課題であり、特に今後の2022 瀬戸内国際芸術祭、2025 大阪万博を見据えた場合、喫緊に対応すべき課題と考えられる。

○この観点から、香川大学大学院地域マネジメント研究科とJB本四高速は、昨年度から、これら瀬戸内の島々、特に、塩飽諸島等における島旅の活性化を目的とした共同研究に取り組んでいるところ。

○さらに、この共同研究に加えて、香川大学大学院地域マネジメント研究科とJB本四高速は、瀬戸内地域経済の活性化に関心の高い有識者、民間事業者、DMO・観光協会、行政機関(自治体・国)等が一堂に会し、瀬戸内地域における島旅の活性化方策について意見交換等を行う「瀬戸内島旅活性化研究会」(座長 香川大学大学院地域マネジメント研究科長 原真志教授)を、2021年4月1日に設置したところである(主催及び事務局 本四高速)。

○研究会においては、事務局から、

- ・塩飽諸島各島等の自然環境、歴史・食文化等の地域資源を活かした体験ツアー企画

- ・魅力度の高い塩飽諸島等における周遊島旅ツアー企画

等の提案・意見交換等を行うこととし、それらの成果については、共同研究事業に反映させることとする。



具体的な取組内容について

(1)塩飽諸島各島の自然環境、歴史・食文化等の地域資源を活かした体験プログラム

<自然環境>

- ①広島における謎解きジオプログラム（ブラタモリ風）
- ②広島・本島におけるシーカヤック・サイクリングの体験プログラム
- ③志々島における大楠等の自然に触れる体験プログラム
- ④粟島における海洋環境関係体験プログラム

※環境省の国立公園・国定公園での滞在型周遊プログラム推進事業により執行

<歴史文化>

- ①本島における塩飽歴史体験プログラム
- ②粟島における文化・アート体験プログラム

<食文化>

- ①本島・広島における新名物料理・食文化体験プログラム

(2)魅力度の高い塩飽諸島等における周遊島旅ツアーの企画

- ①インバウンドをターゲットとした「ジオと食」ツアー
- ②与島発テーマ性の高い周遊島旅ツアー

(3) 「せとうち島旅フェス2022」の開催

2022年5月に島旅の拠点となる与島PAにおいて、島旅の活性化を目的としたイベントを開催し、地域とともに島旅を盛り上げます。

○名称 せとうち島旅フェス2022 ～与島から瀬戸内の島々へ～

○期間 2022年5月14日(土)、15日(日)

○ラインナップ(案)

- 島旅オープニングイベント(コンサートなど)
- 与島発「せとうち島旅クルーズ」
- 「せとうち地域マルシェ」
- 「与島から魅力発信!せとうちフォトコンテスト」

与島発「せとうち島旅クルーズ」



与島PA
(香川県)



葉加瀬太郎氏
「島々の詩」



◆使用予定船

船名: めおん2

総トン数: 264トン

旅客定員: 250名

諸元: 全長33.3m×型幅10.05m×深さ3.0m

航海速力: 10.5ノット

主機関: ディーゼル×1

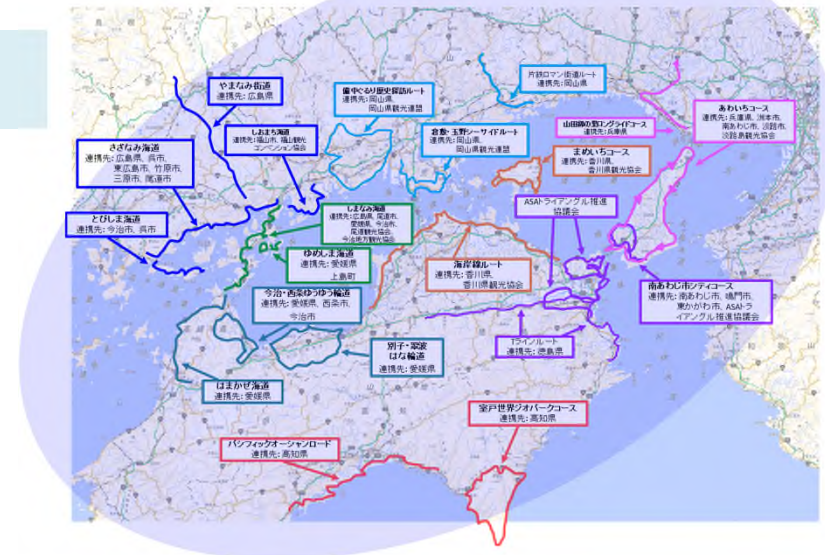
竣工: 1998年11月

4. サイクリングによる地域発信

しまなみ海道や淡路島一周（「あわいち」）、四国一周など、瀬戸内地域に存するサイクリングルートをネットワーク化し、サイクリングを通じて地域の魅力を国内外に発信します。

（１）瀬戸内地域のサイクリングルートのネットワーク化の推進

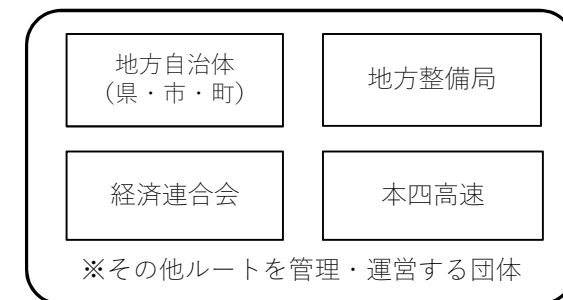
しまなみ海道、「あわいち」、海岸沿いや島々をめぐるコースなど、瀬戸内地域全体に存する多数のサイクリングルートをネットワーク化し、サイクリングで自在に周遊できるようにするとともに、瀬戸内地域が「サイクリングの推進エリア」となるように2025年の大阪・関西万博を目指して普及します。



（２）「環瀬戸内サイクリングネットワーク協議会（仮称）」の設置及びプロモーション等

ネットワーク化の推進に向けて、瀬戸内地域の地方公共団体や地方整備局、経済団体やサイクリングルートを管理・運営する主体などとともに「環瀬戸内サイクリングネットワーク協議会（仮称）」を設置し、瀬戸内地域におけるサイクリング文化やE-バイクの普及・促進を支援する各種活動を展開するとともに、世界に誇るサイクリングルートを有する瀬戸内地域を国内外に向けて発信し、インバウンドも含め世界中のサイクリストが集う地域となるよう、取り組んでまいります。

環瀬戸内サイクリングネットワーク協議会



5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

瀬戸内地域に存する美術館・博物館81施設のネットワーク(「瀬戸内美術館ネットワーク」平成20年スタート、本四高速が事務局)のつながりを深化、発展させ、文化・芸術面から瀬戸内地域の活性化に貢献します。



(1) 「せとうち美術館サミット」の開催

ネットワークに参加する美術館・博物館が一堂に会し、相互交流や情報交換等を実施するほか、旅行会社等とのビジネスマッチングを実施。

【第13回せとうち美術館サミットを開催】

◎開催日：2021年11月23日(火・祝) 13時～17時

◎開催会場：レクザムホール(香川県高松市)

【特別講演会】

時間：13:00～14:30

講師：東京藝術大学 美術学部長 日比野克彦氏

テーマ：「瀬戸内のアートプロジェクトbyHIBINO」

【定時総会】

時間：15:00～17:30

○定時総会の開催(15:00～15:30)

○分科会(テーマ別会合)の開催(15:30～17:30)



サミット特別講演会



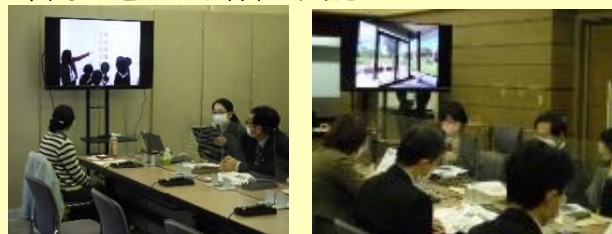
テーマ別会合

(2) ネットワークの新たな展開

参加施設間の相互支援、発信力の強化、対話機会の創出等を通じ、ネットワークの活用による地域活性化を図ります。

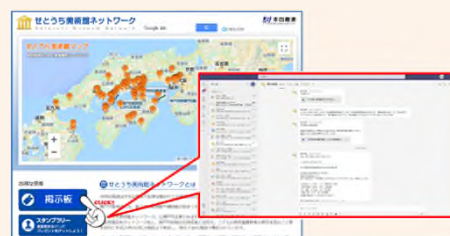
① テーマ別会合の実施

参加施設間の交流、情報交換を促進するため年間を通して会合を実施



11月23日開催のせとうち美術館サミットで「集客のためのイベント&広報」「地域活性化のための美術館の取組」「学校と連携した美術教育普及」の3テーマについて、テーマ別会合を実施

② 情報交換web掲示板の開設



参加施設同士の情報交換がリアルタイムで可能となるツールとして『美術館ネットワーク情報交換web掲示板（仮称）』を当社HP内で開設

③ 情報誌の発刊



誌面イメージ（見開き）

各施設の「特別展・企画展」などの情報を掲載した『せとうち美術館旬報（仮称）』を季節毎（年4回）に発行。

④ 冊子のパスポート化及びデジタルスタンプラリーの実施

現在の冊子を、入館証明スタンプの押印などに対応した収集性の高いパスポートタイプに変更するとともに、デジタルスタンプラリーを実施



冊子型パスポートイメージ

⑤ ビジネスマッチング機会の創出

参加施設と旅行会社や宿泊施設・各種メディア、出版社等との交流機会を創出



ビジネスマッチングのイメージ

⑥ インフラツアーとの連携

美術館巡りと塔頂体験ツアーなどのインフラツアーを組み合わせたモニターツアーを実施



⑦ SA・PAとの連携

参加施設主催のワークショップや特別展のPRなどに本四高速SA・PAを積極的に活用いただくとともに、当社イベントへの各施設の参画を促進



6. 多様な主体との連携

地域連携への取組に当たっては、国、地方公共団体をはじめ、地域の経済団体、商工会議所、企業、農協・漁協、観光協会等多様な主体との連携を強化します。

(1) 環瀬戸内海地域交流促進協議会への参画

平成26年3月に、環瀬戸内海地域の一層の発展、向上を図ることを目的に、経済界、地方公共団体、国の機関、当社により設置。



(2) ルート別ワークショップ等の開催

観光分野の有識者、民間事業者、DMO、観光協会、地方整備局や地方運輸局、地方公共団体等多様な主体が一堂に会し、広域周遊観光に資するコンテンツの形成等について検討するためのワークショップ等を開催します。

- ① 第3回神戸淡路鳴門地域周遊観光ワークショップ(R3.6.22開催)
- ② 第1回瀬戸内島旅活性化研究会(R3.6.21開催)
- ③ 第3回しまなみ海道周遊観光ワークショップ(R3.6.17開催)
- ④ 第3回瀬戸大橋周遊観光ワークショップ(R3.12.14開催)



TV会議での開催の様子



ワークショップ資料

(3) 経済団体等の活動への参画

- ① 中国経済連合会、四国経済連合会観光委員会、産業振興委員会への参画
- ② 坂出商工会議所における講演会の実施(R3.12.17)

(4) 行政機関との連携

- ① 環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結
- ② 中国四国農政局との連携